

D₃+



ビタミンDは、日本人には不足しているビタミンのひとつです。欧米に比較してビタミンD強化食品が少ない、紫外線暴露時間が減少している等の理由が考えられます。初診時の95%以上で血中25-(OH)D₃濃度は低値(<30ng/ml)だったというデータがあります(新宿溝口クリニック:未発表)。D₃+は、ビタミンDを高力価に含有し、さらにαカロテン、βカロテン、ビタミンE、鰵肝油(レチノール、EPA、DHA含有)をプラスしました。
血中25-(OH)VD₃濃度は、生体内でのビタミンDの体内動態を反映する有効なマーカーです。

こんな方にお勧めします

- ▶ **花粉症が気になる方**
- ▶ インフルエンザを予防したい方
- ▶ がんの治療、予防
- ▶ 血糖コントロールが不良な方
- ▶ うつ、統合失調症の方
- ▶ アルツハイマー、パーキンソンが気になる方 など

期待される疾患

ビタミンDの作用は、カルシウムのホメオスタシスや骨量維持がよく知られていますが、それだけではありません。遺伝子を介した多くの作用によって、さまざまな疾患に対する効果が期待されています。

- 糖尿病
- 動脈硬化
- 免疫
- 自閉症
- アトピー性皮膚炎
- うつ
- がん
- 花粉症**

Topics

～症例のご紹介：30歳代男性 アレルギー性鼻炎～

- ◆ 重症の花粉症で、抗アレルギー剤・抗ヒスタミン剤の服用が必要。顔面の浮腫、倦怠感、頭がボーっとするなどの症状あり
- ◆ VD4000IU より投与開始し、症状の改善を見ながら増量
- ◆ VD12000IU 摂取時、アレルギー症状の消失
- ◆ VD血中濃度：25-(OH)D₃ の推移
 摂取前：10ng/ml → 症状消失時：50ng/ml

(新宿溝口クリニック)

ビタミンDは、食事で十分な量を摂ることは難しいと言えます。サプリメントで適宜補給しましょう。
 食物からの摂取量：干しいたけ100g=672IU、焼き鮭100g=1576IU
 ※ビタミンD：1IU=0.025μg

標準組成 <1粒(405mg)中>

ビタミンD ₃	-----	1200IU
β-カロテン	-----	1.5 mg
α-カロテン	-----	0.004 mg
ビタミンE	-----	3.4 mg
EPA	-----	1.5 mg
DHA	-----	1.94 mg

原材料

精製魚油、ビタミンE含有植物油、ひまわり油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、ビタミンD、β-カロテン、<被包材>ゼラチン、グリセリン(原材料の一部にゼラチンを含む)

サプリメントハイライト

ビタミンD₃(動物由来)は、肝臓で代謝されることにより半減期が15日間と長い25-(OH)VDとなり、処方薬で用いられている1,25-(OH)₂VDの前駆体です。本製品のビタミンD₃は、羊毛抽出とたら肝油からの精製魚油を基に配合しています。また、酸化から保護するビタミンE、βカロテン、αカロテンとともにEPA、DHAを配合しています。

D₃+は、公益財団法人日本健康・栄養食品協会(平成4年厚生大臣認可)認定のGMP工場にて、原料の受け入れから最終製品の出荷に至るまで、厳重な管理基準の下、安全かつ高品質に製造されているサプリメント製品です。